

# 今暮らしている社会と私

グループ4 張屹

## 1. 二回の散歩

私にとって大切な社会は今暮らしている社会である。それはなぜかという、社会は人間が集まって共同生活を営んで形成したものである。社会から離れば、生活できる人はまずないと思う。そして、私は今交換留学生として日本で勉強することになる以上、この社会をもっと大切にしたいと思う。というのは、できるだけいろいろな所に行って、多くの人々と交流して、日本の社会文化と生活習慣を深く理解できて、ここでの生活を豊富にすれば、一生忘れられない思い出になると思うからである。

第一回目の散歩では私たちはグランマートと大学近くの公園に行った。公園は人々の遊び場として建たれて、そこでストレスと緊張感が解消でき、よりよい人間関係ができると考えたからだ。公園では幼稚園の子供たちが遊んでいたのを見た。時々子供たちが「こんにちは」と声をかけてくれ、とても楽しかった。みんな一緒に昼食とお菓子を食べながら、東日本大震災とか、秋田の天気とか、アルバイトとか、それぞれの国のことなど、いろいろな話題を話し合っ、有意義な時間を送った。第二回目の散歩は私たちは千秋公園に行った。私は秋田に来たばかりの時、ほかの人に千秋公園は秋田市のシンボルとして市民と深くかかわっていて、歴史が長い公園だと聞いたから、ずっと行きたいと思った。公園では風景のいい所で写真を撮ったり、紅葉を見たりした。そして、公園の中の神社でおみくじも引いてみた。私は初めておみくじを引いて、大吉が引けて非常にうれしかった。みんなといろいろ話をして、自分が分からないことがあったら、みんな詳しく説明してくれて、秋田についてもっと深くわかった。

## 2. 話し合いの結果

前回の話し合いでみんな大学の入試試験と方法、結婚年齢に対しての観念、食事をする時の習慣など、いろいろな話題について、自分の国はどうだったのかをみんなに紹介した。日本、韓国、中国それぞれの社会の違うと似るところに気づいたと同時に、今暮らしている社会についても深く理解でき、非常に有意義なことだと思う。また、グループ4人の中で、2人は「今暮らしている社会と私」というテーマを選び、もう2人は「友達と私」というテーマを選んだのだが、テーマの選択は自分のいる環境によって変わるかもしれないということもわかった。私の場合、もし、今中国にしているとすると、テーマはたぶん「友達と私」に変えるかもしれない。ほかのメンバーも自分が留学生として外国にいるとしたら、その社会に関するテーマに変えるという意見があった。それはなぜかという、自分の国にいる時、周囲の環境とか、周りの人々とか、すべては馴染みのある物事で、そういう前提でひとつの物事に関するテーマを選ぶ傾向が強いからである。逆に、家族と友達から離れて一人で外国に行くと、今までと全然違う社会で生活をして、そこの環境、人間関係などすべてを大事にしたい人が多いではないかと思う。

## 3. 今暮らしている社会と私

言うまでもなく、私たちの日々の生活は、すべて社会との係わりの中で成り立っているものであり、社会に適応しつつ自分の能力や態度を育成することが求められている。もし、社会から離れ、いつも一人でいたら、最後は失敗するほかないと思う。私は日本に来て、約三か月経った。最初に来た時、私の授業も少ないし、知り合った人も少なかった。毎日授業が終わった後すぐ会館に帰って一人で部屋に閉じこもった。正直にいうと、その時は私にとって一番苦しかった時期だった。その後、もしこんな状態でずっといけば、最後は

全然意味のない留学生活になってしまうということに気づいた。だから、私はできるだけいろいろな活動に参加して、だんだん多くの人々と知り合って、バイトもできて、生活は忙しくなる一方、今暮らしている社会を大切にしたいという気持ちも強くなってきた。そのことは私がこのテーマを選んだ理由の一つである。

また、私は日本に行ってから、日本人は「お先にどうぞ」という習慣が好きだということに気づいた。例えば、日本では道で車も自転車も人を譲ることが普通である。私は一度道を渡る時、信号も横断歩道もない道を渡るのに多分長い時間がかかるだろうと思うのだが、ある車は私の前に止まって、運転手さんが「お先にどうぞ」と言う表情で軽くうなずいた。その時私は本当に心から感動した。道を渡ってすぐその車にお辞儀した。事実、異文化社会で生活しているうちに、こういうようなカルチャーショックがたくさんあると思う。それをよりよく理解できるように、その社会の文化と習慣を知らなければならない。これは今暮らしている社会が私にとって大切なもう一つの理由である。つまり、自分のいる社会を大切に、その社会にある文化とか、風俗とかを受け入れることによって、自分の生活が豊富になって、自己実現もできると思う。今は留学生として秋田で勉強することが私にとってあり難いチャンスだから、これからの何ヶ月もできるだけ多くの活動に参加し、いろいろな文化や習慣の違う人々と付き合い、視野を広げると同時に、更にこの社会の寒暖を感知することができるのではないかと思う。そして、秋田での留学生活は、中国と違う社会を知り、日本と中国を比較することによって、中国で暮らしている社会を客観的に評価できるという点でも非常に意義あることだと思う。

#### 4 「社会」とは何か

社会は人間が集まって共同生活を営んで形成したものである。人間で成り立った社会であるからには、競争とか人間関係という人々の絆があるに違いない。そして、これらの絆こそが社会が形成した要因だと思う。前に述べたように、私たちの日々の生活はすべて社会との係わりの中で成り立っているものであり、学校においても、一人一人の学生に対し、社会の適応しつつ自己実現ができる能力や態度を育成することが求められている。特に、他者を尊重する態度のもと、お互いの思いを伝え合い、協力しながら問題を解決することができる能力や態度を身につけることは、社会を生きるすべての人たちにとって必要となることである。つまり、社会とはそこにある具体的な場所ではなくて、人々の行為と活動による人間関係とか、規則とかのような小さな絆から形成したものだと思う。

#### 5 クラスについての感想

今学期は「〇〇社会と私」というテーマをめぐって、グループ全員が一緒に散歩したり、そして、散歩の内容とそれぞれの感想や意見を授業で話し合ったりして、最後私が「今暮らしている社会と私」というテーマのレポートを完成したのである。正直のところ、この授業の前に、私は「自分にとって大切な社会は何か」という問題を考えたことがなかった、それどころか、まず「社会とは何か」という抽象的かつ複雑的な問題を考えたことがなかったのである。しかし、この授業を通して、これらの問題を大体分かると同時に、今の自分にとって大切なのは何かという問題をもう一度真面目に考えることができ、とても有意義なことだと思う。